

教育の理念

下田に誇りをもち、未来を切り拓く志をもった人

教育目標

未来に向かってたくましく、しなやかに生きる子を育む

Ⅰ 下田市の教育の基本方針

下田市は、海や山など美しい自然に囲まれ、開国のまちとして歴史や文化に彩られた魅力あふれるまちです。そして、人が優しく温かいまちでもあります。このような温かな環境の中で子供たちは成長し、育まれています。

下田市教育委員会では、「下田に誇りをもち、未来を切り拓く志をもった人」を教育理念とし、その実現に向け、具体的な目標や方法を模索していきます。学校教育では、下田の自然、歴史、文化など豊かな資源を活かした教育活動を展開し、「未来に向かってたくましく、しなやかに生きる子を育む」ことを教育目標とします。

Ⅱ 現状と課題

子供たちを取り巻く環境は、少子高齢化、人口減少社会、環境問題、大規模災害など、急速な社会の変化に加え、従来の思考や方法が通用しない予測困難な時代を迎えています。また、私たちは、新型コロナウイルス感染症対応の経験から、学校生活において当たり前に行ってきたことの意味や価値を見直し、取組を再構築することを学びました。未来を生きる子供たちにとって、様々な困難に立ち向かい、未来を切り拓くたくましさ、そして、変化を前向きに受け止めしなやかに対応していく力が、必要不可欠であると考えます。

令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の第5類への移行から2年が経過しようとしている今、学校現場では、従来の取組を再構築して様々な活動に取り組むことができるようになりました。実施方法を吟味し、子供たちにとって意義のある活動を再考できたことを、今後どう生かしていくかは重要なポイントとして捉えなければなりません。

統合3年を終えた下田中学校は、落ち着いた校内外の生活の中で、生徒も教職員も互いに高め合い、充実した教育活動を推進しています。令和5年度のコミュニティ・スクール導入から、地域人材や地域の企業、関係団体と共に学校をつくる視点を明確にし、総合的な学習の時間の効果的な展開につながり成果を上げています。令和6年4月には、小学校にもコミュニティ・スクールの仕組みを広げ、それぞれの学校の特色や持ち味を生かしながら、地域とのつながりを大切にした教育活動に取り組むことができました。また、下田開港170周年の記念すべき年でもあり、下田開港特別授業(下田中学校)や未来の下田 作文コンクールなどを通して、下田開港の歴史を学ぶとともに、

新しいまちづくりを目指すための思いを新たにすることができました。

未来を切り拓いていくたくましさ、しなやかさの土台となるのは、下田の自然や歴史・文化、地元企業や志をもって活躍している地域人材等の教育資源を生かした、豊かな体験活動です。令和7年度も、「小中学校グローバルCITYプロジェクト事業補助金」を活用し、児童生徒にとって一層充実した豊かな体験活動を推進します。開国のまち「下田」に生まれ、育つ子供たちが、将来国際的な舞台でも活躍する力を育むよう、黒船交流やニューポート生徒派遣事業、玉川大学との交流による英語力向上プロジェクトや上智大学等との連携を進め、英語力の向上や異文化理解、多様性を尊重する教育活動を進めます。

継続的に取り組まなければならない課題は、学校現場のDX化です。一人1台端末の導入後、各校では着実に効果的な活用が進められています。令和6年度は、地域活性化起業人による支援体制を整備し、各校へ派遣することで、ICT教育のさらなる充実と、教職員の業務改善を進めました。

令和6年1月の能登半島地震から1年、同じような地理的な環境にある私たちにとって、他人事とは思えない自然災害は、災害時の避難のあり方や危機管理マニュアルの見直し等はじめ、安心・安全な学校生活の実現に向け、環境整備・体制整備を進めるきっかけとなりました。過去の災害を教訓とし、時と場に応じた判断・行動ができる子供の育成に向けた取り組みをさらに進めていきます。

次期学習指導要領の改訂作業がスタートする今、子供たちの将来を見つめ、5年後、10年後の市内小学校の姿、中学校の部活動のあり方等、取り組まなければならない課題を明確にし、多角的な視点から知恵を出し合い、下田ならではの充実した学校教育の実現を目指します。

Ⅲ 教育目標を実現するための5つの取組

教育目標「未来に向かってたくましく、しなやかに生きる子を育む」を実現するための、5つの取組とその基盤整備に関する手立ては以下のとおりです。

取組 1

・下田を感じる、味わう、好きになる取組

自然、歴史、文化をフィールドとした体験を通して豊かな感性を育み、表現力を磨きます

○下田の豊かな自然（海、山、川、ジオ）を体験する活動を通して学びます

手立て ・体験プログラム事業を活用した体験学習の実施

関連予算：小中学校グローバルCITYプロジェクト事業補助金 4,500 千円

・総合的な学習の時間を活用した下田の魅力を知る授業の展開

関連予算：総合的な学習の時間 講師謝礼 112 千円(小) 90 千円(中)

○下田の豊かな資源（文化、歴史、伝統）の探求を通して学びます

手立て ・総合的な学習や地域を知る学習（社会科）を通して歴史や文化を学ぶ活動の展開

関連予算：小中学校グローバルCITYプロジェクト事業補助金 4,500 千円【再掲】

・学校給食で地場産品を使用したふるさと給食週間や地産地消週間の実施

関連予算：ふるさと応援基金 賄材料費（ふるさと応援分）4,000 千円

○開国のまちの特色を生かした取組を通して、豊かな国際感覚を身に付けます

手立て ・外部人材を活用した国際教育の展開

関連予算：外国語指導助手謝礼 6,500 千円

- ・黒船祭への参加等外国の文化に興味をもち、多様な見方や国際感覚を育む活動の実施

関連予算：英語力向上プロジェクト事業補助金 1,500 千円

- ・ALT の全校配置や英検受検全額補助等、英語力の向上のための支援

関連予算：英語検定受検推進補助金 1,790 千円

- ・下田グローバルCITYプロジェクトに基づく、国際的な視野と地域への愛着の両面を養う取組の推進

☆各教科における“グローバル”を視点とした授業づくり、総合的な学習の時間を活用した体験・交流活動の実施

関連予算：小中学校グローバルCITYプロジェクト事業補助金 4,500 千円【再掲】

ZOOM ライセンス使用料 41 千円

取組 2 ・ 未来について思考する取組

自分の将来や地域の未来について思考する素地を養います

○未来の姿を思い描き、自分の生き方や下田の未来について考え、アクションを起こします

手立て ・総合的な学習の時間を活用した自分の生き方について思考する授業の展開

関連予算：総合的な学習の時間 講師謝礼 112 千円(小) 90 千円(中)【再掲】

- ・高校と連携した探究的な活動の試行等、未来の可能性を広げる事業の展開

☆下田市のよさ・もち味・可能性を生かした、未来の小学校のあり方の検討

関連予算：未来の下田創造プロジェクト会議 講師・参加者謝礼 80 千円

小学校の在り方検討会議 講師・参加者謝礼 232 千円

○下田内外の職場や働く人の生き方から学びます

手立て ・職場体験、保育実習、福祉体験活動等、体験活動を活用したキャリア教育の展開

- ・下田内外で活躍する人材や資源を生かしたキャリア教育の推進

- ・幼保こ・小・中・高が連携した職場体験の実施（職員間の職場体験交流等）

☆コミュニティ・スクールの仕組みを活用した各種体験活動及びキャリア教育の一層の推進

関連予算：総合的な学習の時間 講師謝礼 112 千円(小) 90 千円(中)【再掲】

小中学校グローバルCITYプロジェクト事業補助金 4,500 千円【再掲】

下田市学校運営協議会 委員報酬 540 千円

取組 3 ・ 居場所づくりに向けた取組

安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます

○自分の居場所と感じられる学校・地域を目指します

手立て ・温かな人間関係・豊かな集団生活が育くまれる学級・学校の環境づくり、必要な家庭への適切な経済的支援

関連予算：児童援護事業(準要保護就学援助費 1,294 千円 特別支援教育就学奨励費

673 千円)

生徒援護事業(準要保護就学援助費 2,037 千円 特別支援教育就学奨励費
799 千円)

- ・授業支援の充実、支援員の配置

関連予算：特別支援教育支援員報酬等 53,367 千円

- ・人間関係づくりプログラム等、人とのかかわり方を学ぶ授業の実施
- ・地域ぐるみで児童・生徒を支えるコミュニティ・スクールの充実

☆コミュニティ・スクールの仕組みを活用した地域との連携強化、教育活動の充実

関連予算：下田市学校運営協議会 委員報酬 540 千円【再掲】

- ・放課後児童クラブの拡充

関連予算：放課後児童対策事業 52,477 千円

○命を守り、安全かつ安心して生活できる環境づくりを目指します

手立て ・積極的な情報発信、学校公開等の実施

- ・不登校児童等対策連絡協議会・いじめ問題対策連絡協議会等各種機関との連携

関連予算：下田市いじめ問題対策連絡協議会 委員報酬 56 千円

下田市いじめ問題専門委員会 委員報酬 42 千円

- ・SC や SSW を活用した、個別対応の充実と外部機関との連携強化

関連予算：SC・SSW は県費対応

- ・臨床心理士による巡回相談、発達検査の実施

関連予算：巡回相談員謝礼等 603 千円

- ・通学路安全対策事業・児童生徒通学費補助金の活用

関連予算：児童通学費補助金 1,752 千円 生徒通学費補助金 33,770 千円

中学生自転車損害賠償保険等補助金 260 千円

○防災教育を通して、命を守るために自ら考え、人のためにも行動できる人を目指します

手立て ☆安心・安全の意識を高め、自分の命を守る防災・防犯教育の実施（南海トラフ地震及び津波に関する防災訓練の実施、不審者対応の研修や環境整備）

- ・幼保こ・小・中・高と地域がともに作り上げる防災教育の実施

関連予算：子どもの体験型防犯講座参加負担金 20 千円

防犯ブザー購入 40 千円（小）102 千円（中）

取組 4 ・ 資質・能力を育成する取組

自分や地域の未来を切り拓こうとする意欲・資質・能力を伸ばします

○実際の社会や生活で生きて働く知識や技能を身につけます

手立て ・魅力ある授業を目指した、園・校外外における教職員研修の充実

☆体験的な学習の推進、地域の資源を活用した授業の展開

関連予算：小中学校グローバルCITYプロジェクト事業補助金 4,500 千円【再掲】

総合的な学習の時間 講師謝礼 112 千円（小）90 千円（中）【再掲】

○未知の状況にも対応できる、思考力、判断力、表現力などを身に付けます

手立て ・思考力や判断力、表現力を育成する ICT 教育の実施

関連予算：授業支援ソフト使用料 1,100 千円

ZOOM ライセンス使用料 41 千円【再掲】

タブレット用教材（AI ドリル）ライセンス使用料 2,079 千円

パソコンネットワーク保守業務委託 3,274 千円（小） 3,972 千円（中）

GIGA スクールサポーター配置促進業務委託 3,274 千円（小） 1,872 千円（中）

電子黒板リース料 713 千円（小） 191 千円（中）

地域活性化起業人負担金 7,680 千円

教育用端末（タブレット購入） 46,332 千円（小） 29,568 千円（中）

- ・児童・生徒会活動等、自治的な力をつける活動の工夫と実施
- ・授業力向上に向けた下田市教育研究発表会の開催及び研修推進のための支援

関連予算：下田市教育研究会負担金 47 千円（小） 30 千円（中）

☆小中学校間の交流活動（ICT 含む）の推進

関連予算：GIGA スクールサポーター配置促進業務委託 3,274 千円（小）1,872 千円（中）【再掲】

ZOOM ライセンス使用料 41 千円【再掲】

○学んだことを人生や社会に生かそうとする力を身につけます

手立て・地域の人や資源を生かした総合的な学習の実施

- ・環境問題について学び、自分のできることを考え実行する授業の展開

関連予算：総合的な学習の時間 講師謝礼 112 千円（小） 90 千円（中）【再掲】

- ・学ぶ意欲がある児童・生徒（家庭）への適切な経済的支援

関連予算：教育資金利子補給事業 445 千円

就学奨励交付金事業 1,000 千円

取組 5 ・ 健やかな心身を育成する取組

生涯を通じて充実した人生を送るために、健やかな心身と豊かな感性を育みます

○健やかな心身を支える健康な体づくりを目指します

手立て・小中学校児童生徒対外派遣事業費補助金の活用

関連予算：小中学校児童生徒対外派遣事業費補助金 3,250 千円

- ・栄養教諭における給食時間の指導や授業や地域の食材を活用した給食の提供

関連予算：学校給食管理運営事業 173,191 千円

- ・児童・生徒適応指導事業、特別支援教育体制推進事業

関連予算：児童・生徒適応指導事業 5,534 千円

関連予算：特別支援教育支援員報酬等 53,367 千円【再掲】

巡回相談員謝礼等 603 千円【再掲】

○道徳教育や読書活動の充実を図り豊かな心の育成を目指します

手立て・園児・児童・生徒の感性を磨き豊かな心を育てる読み聞かせ等の読書活動の充実

- ・学校司書の配置（2名）、計画的な新刊図書の購入、学校図書館システムの全校活用

関連予算：学校司書（2名）報酬・期末手当等 6,500 千円

図書購入費 1,540 千円（小） 550 千円（中）

学校図書館管理システム使用料 616 千円（小） 143 千円（中）

- ・ 道徳教育の充実を図り豊かな心の育成を目指す授業づくり研修の実施

基盤整備

・ 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組

以上、5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます

○人材育成に向けた学びの機会や質を保障する教育予算の拡充

手立て ・ 教職員の研修費の拡充

- ・ 多様な学びの機会を創出するための外部人材活用の為の予算の拡充

関連予算：学校司書（2名）報酬・期末手当等 6,500 千円【再掲】

部活動指導員報酬 722 千円

地域活性化起業人負担金 7,680 千円【再掲】

○少子化・人口減少社会と新しい時代に対応した魅力的な学校づくり

手立て ・ 中学校や7小学校の魅力化に向けた調査・研究

☆「小学校在り方検討会議」の計画的な実施による未来の市内小学校の在り方の検討

関連予算：小学校の在り方検討会議 講師・参加者謝礼 232 千円

- ・ 大学や他機関と連携と地域と共にあるこれからの学校の魅力化を構想する場の設置

関連予算：未来の下田創造プロジェクト会議 講師・参加者謝礼 80 千円

小学校の在り方検討会議 講師・参加者謝礼 232 千円

中学校部活動在り方検討会議 参加者謝礼 96 千円

○ICT、ネット環境に関する基盤整備

手立て ・ 地域活性化企業人を生かした GIGA スクール構想、ICT 機器の活用の充実

- ・ 一人一台端末の効果的な活用に向けた研修の充実

関連予算：授業支援ソフト使用料 1,100 千円【再掲】

タブレット用教材（AI ドリル）ライセンス使用料 2,079 千円【再掲】

パソコンネットワーク保守業務委託 3,274 千円（小） 3,972 千円（中）【再掲】

GIGA スクールサポーター配置促進業務委託 3,274 千円（小）1,872 千円（中）【再掲】

電子黒板リース料 713 千円（小） 191 千円（中）【再掲】

地域活性化起業人負担金 7,680 千円【再掲】

教育用端末（タブレット購入）46,332 千円（小） 29,568 千円（中）【再掲】

- ・ 校務支援システムのさらなる活用のための改善

関連予算：賀茂地区校務事務共同化事業負担金 3,756 千円

☆学校現場のDX化に向けた、地域活性化起業人の活用

関連予算：地域活性化起業人負担金 7,680 千円【再掲】

○子どもの安心安全の確保と、多様なニーズに対応するセーフティーネットの構築

手立て ・ 子育て世代・ひとり親家庭への支援体制の構築

- ・ 地域見守り隊の活用

- ・ 通学路の安全確保に向けた取組の推進（子供の移動経路・安全推進会議）

関連予算：児童通学費補助金 1,752 千円 生徒通学費補助金 33,770 千円【再掲】

中学生自転車損害賠償保険等補助金 260 千円【再掲】

○生涯にわたって学び続けることができる施設・環境の整備

手立て・小学校管理事業、中学校管理事業

- ・小学校特別教室への空調設置
- ・学校司書による学校図書館の環境整備の一層の充実

関連予算：学校司書（2名）報酬・期末手当等 6,500 千円【再掲】

図書購入費 1,540 千円(小) 550 千円(中)【再掲】

- ・就学援助事業(要保護・準要保護)、教育資金利子補給事業、就学奨励交付金事業

関連予算：教育資金利子補給事業 445 千円【再掲】

就学奨励交付金事業 1,000 千円【再掲】